

お花の栽培シリーズ「ハナショウブ」

2007年6月	水無月(みなづき)・且月(しよげつ)・無水月(みなづき)・風待月(かぜまちづき)・鳴雷月(なるかみつき)	●梅雨で雨が多い時期
<p>●梅雨でジメジメとした日が続きます。 春の草花の切り戻しをして長く持たせたり、春花壇の片付けをして夏の準備を始めます。 ●雑草の多くなる時期ですので、こまめに除草をしましょう。</p>		
庭木の作業	・花の終わったアジサイやサツキの切り戻し。	
草花の作業	・春花壇を片付け、夏花壇へ模様替え ・チューリップやスイセンなど、春咲き球根を掘りあげて、保管する。	






今月の誕生花	カラー、クチナシ、バラ	
今月の花	<p>カスミノウ 花言葉 / 清らかな心 (白) 清い心 / (ピンク・赤) 切なる思い・感激</p>	
	<p>英名ベビーズ・ブレス(Baby's breath)は、「かわいい彼女の息」という意味です。でしゃばらず、奥ゆかしい透明感を漂わせる この花には「かわいい」の形容詞がピッタリですね・・・。</p>	
	<p>さらに、可憐で清楚、確かな存在感もある花です。そんなところが 花言葉の「清らかな心」を イメージさせ、この花の人気を 高めている理由かも しれません。</p>	
	<p>花束に添えたり、単体で贈る場合でも贈る側のセンスが 相手に認めてもらえる お花です。白くて フワフワとしていて レースのような花なので 他の花にあしらうと 印象がやわらかくなります。</p>	
	<p>ピンクや 黄色のバラや カーネーションなどと あわせて コーディネートすると、花束や アレンジメントに ボリューム感をもたせることができ、フラワーアレンジメントには 欠かすことのできない花です。</p>	
<p>原産地はヨーロッパ・アジア。ナデシコ科ジブソフィラ属の1年草～多年草。草丈は30～120cm。開花時期は5～9月露地)。最盛期は6月。葉の形状は、へら形または披針形葉。花色は、赤・ピンク・白。英名ベビーズ・ブレス(Baby's breath)。別名ジブソフィラ、群撫子(むれなでしこ)</p>		
<p>カスミノウだけでも、髪飾りや 花束、ドライフラワーとして 部屋のインテリアに・・・と 活用できます。色つきの ガラスの花器に、ボリュームたっぷりに 生けて、華やかなモダン・インテリアに してみても いかがですか？</p>		



# お花の栽培シリーズ

今月の花

ハナショウブ

日当たり  日なた	水やり  水を好む	気温  15~25℃	草丈  80~120cm	花色 
--	--	---	---	---

アヤメ科の多年草で、日本で古くから園芸品種として親しまれてきているお花です。すっきりとした花姿は、日本の初夏の代表的な風物ともいえるようです。株を購入するときは、花がついている枝のほかに葉が4~5枚ついた茎が、2本以上あるものを選ぶとよいでしょう。植え替えや株分けは、花が終わった直後に起こします。

作業後1週間は、日陰において管理し、肥料を与えるのは20日たってからにします。水辺に咲くイメージがありますが、真夏の乾燥にさえ気をつければ、とくに水気の多い場所で育てる必要はありません。むしろ、開花時期にはたっぷり水を与えますが、それ以外の時期には水を控えめにしたほうがよく育ちます。日光が不足すると花が咲きません。少なくとも半日は、日のあたる場所で育てましょう。冬には乾燥と凍結に注意しましょう。



## ●株分けと植えつけのやり方



## ●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
状況	花期 											
置き場所	屋外の日当たりのよい場所						屋外の半日陰 露地栽培は 日よけをする		屋外の日当たりのよい場所			
水やり	表土が乾いて1~2日たったら与える		表土が乾いたら与える(2~3日に1回)		表土が乾いたら与える(1日1~2回)		表土が乾いたら与える(2~3日に1回)		表土が乾いて1~2日たったら与える			
肥料	○ 発酵油カス または 緩効性化成肥料を与える				○ 発酵油カス または 緩効性化成肥料を与える				○ 発酵油カス または 緩効性化成肥料を与える			
害虫	ズイムシの食害を つけやすいので 発見したら 早目に駆除する											
作業	種まき  植えつけ 											